

## 研究方法論勉強会

### 目的

本研究会は、博士論文の執筆や研究の質を高めるものにするため、学生が主体となり研究方法を議論し、課題を共有することで、研究のテーマにあった研究方法を見出すことを目的とする。

### メンバー

経営学研究科(D4):HU Qing(代表者)  
経営学研究科(D3):西田 瑞葉  
経営学研究科(D1):LAU Honkit  
政策科学研究科(M2):JIA Bin

### 開催方法と内容(通算8回開催)

ZOOMミーティングの形で、質的研究法に関するテキストや論文の内容報告を研究会活動の基本とした。

担当メンバーはスライド(PPT)を用いて報告した後に、他のメンバーが疑問や課題などを自由に発言し、意見交換を行った。

#### ★前半:各手法の概要報告

西田:M-GTA、SCAT  
HU:ライフストーリー  
LAU:定性的マーケティング・リサーチ  
JIA:社会科学における因果分析の方法論

#### ★後半:輪読会

ウヴェ・フリック著,小田博志ら訳  
(2011)『質的研究入門:「人間の科学」のための方法論(新版)』  
春秋社

### 成果

○よく使われている質的研究法としてのM-GTA、ライフストーリーとSCATへの初歩的理解を得た。

○質的研究と量的研究との関係、質的研究の特徴、研究プロセスと研究デザインを把握し、ある程度で質的研究の全体像を見せてきた。

